

## Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2018 年 9 月 23 日(日)

試合時間：18：20～ CC：伊藤 彰二 U1：小川 隆三 U2：山口 憲昭

東海大学九州	● 7 5	18	—1st—	23	○ 8 7	九州産業大学
		19	—2nd—	19		
		21	—3rd—	26		
		17	—4th—	19		

### 第 1 ピリオド

春季トーナメント決勝カードの意地がぶつかる一戦。東海大ボールでスタートするも、九産大 # 4 7 宮崎がインターセプトからレイアップシュートを決める。すかさず東海大 # 2 1 松井が 3 P シュートを決め返す。九産大は果敢にリングに攻め込み、得点を重ねる。東海大はアーリーオフェンスで # 9 清辻が積極的にレイアップシュートを狙う。終了間際、九産大 # 4 7 宮崎がジャンプシュートを決め、18-23、九産大リードで第 1 ピリオド終了。

### 第 2 ピリオド

両チームスピード溢れる攻防を展開する。九産大はレイアップシュートで着実に得点していく。点差が 2 桁に開いた残り 7：25、東海大タイムアウト。タイムアウト後も九産大ペースで試合は進む。九産大 # 5 Jeremiah が攻守にわたり貢献する。東海大は # 1 4 権藤が鮮やかなドライブでディフェンスを抜き去り、アシスト。更に 3 P シュートを決める。しかし九産大 # 1 8 大城もシュートを決め返す。一進一退の中、東海大が徐々に流れを引き寄せる。連続得点から # 1 4 権藤がバスケットカウントを沈める。しかし、リードは依然九産大。37-42 で前半を折り返す。

### 第 3 ピリオド

開始早々、九産大 # 1 3 上良の連続得点から波に乗り、一挙に 15 得点。東海大はミスが続き、たまたまタイムアウトを請求。直後、東海大 # 6 石井が 3 P シュートを決めるも、九産大 # 5 8 鈴木も決め返す。互いに得点を重ねていく中、九産大がペースを保つ。あと一歩が縮まらない東海大だが、# 2 1 松井が 3 P シュートを決める。九産大リードの 58-68、序盤の点差が響くスコアとなった。

### 第 4 ピリオド

九産大は # 3 2 Anthony の得点で始まった最終ピリオド。東海大は積極的にシュートを打つが、決まらない。対する九産大はリバウンドからオフェンスチャンスに繋げていく。点差はキープされ、じりじりと進む。東海大はしつこいディフェンスで九産大のミスを誘う。# 6 石井の 3 P シュート、# 7 石橋のジャンプシュートが決まり、6 点差に迫った残り 4：57、九産大はタイムアウトを請求。タイムアウト直後、九産大 # 3 2 Anthony がシュートを決める。しかし、東海大 # 9 清辻がバスケットカウントをもらい、点差を広げさせず、その後も攻守において執念を見せる。しかし落ち着いていた九産大。# 4 7 宮崎がリバウンドシュートを沈め、タイムアップ。75-87、九産大が春の雪辱を果たし、4 勝目を挙げた。